

# 第60期 中間報告書

2019年4月1日 2019年9月30日

60<sup>th</sup>  
2nd. QUARTERLY REPORT

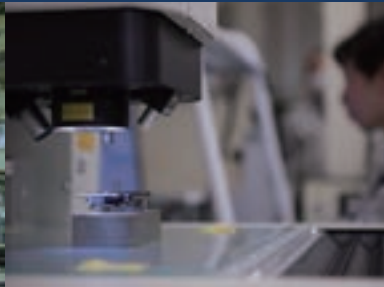


日立精工株式会社

証券コード 7927



ムトー精工株式会社は、  
金型技術・成形加工技術を追求することにより、  
進化するプラスチックを高品位・高品質な部品として  
社会に届けることを使命としています。



## ムトーは、最適製造・最適調達を ワールドワイドに展開します。

当社は、射出成形用金型の設計・製作及び精密プラスチック部品製造の分野において、長年高い技術を築き上げてきました。急速に発達する3D設計やNC加工を取り入れ、コア技術に更なる磨きをかけ、確かな品質の製品をお客様へお届けします。金型製作の高い技術力とグローバル供給網を“強み”に、アジアから世界へ、成長市場・新規市場へと事業領域の拡大を推し進め、高収益体質を目指します。

### 超精密製品製造に 対応する体制

24時間体制の自動化ラインでニーズに柔軟に応え、品質向上とコスト削減を実現しています。また、形状や規格等、お客様から求められる厳しい検査基準に対し、高い計測技術で応えています。



### 金型から造る技術力

成形品の重産に加え、お客様のご要望に応じて、上流工程の企画・設計段階から参画し、研究開発・試作金型の製作から金型単体の外販に至るまで事業の領域を拡大させ、収益の幅を広げていきます。

### プラスチック 射出成形の 一貫生産

### 顧客に近いアジア地域 での圧倒的な生産力

現在、製品の6割をアジア地域で生産しています。日本と海外の各生産拠点で金型設計・加工データを共用できるネットワークを構築。低コストでシームレスに金型設計からプラスチック成形品を重産できる生産体制は、お客様から高く評価されております。



### 環境配慮も 追求した塗装・組立

顧客の求める環境基準への適合はもちろんのこと、「取り組もう環境保全・大地の恵みを次世代へ」を環境スローガンに、社員教育の徹底や各工程における環境汚染物質、廃プラスチックの削減を実行しています。





株主・投資家の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループの第60期第2四半期（2019年4月1日から2019年9月30日）が終了いたしましたので、ここに事業の概況と中間決算についてご報告申し上げます。

2019年12月  
代表取締役社長

田中 肇

## 第60期上期を振り返って

### 事業環境と業績レビュー

第60期上期は、米中の貿易摩擦の長期化、韓国や香港情勢の悪化、中国経済の減速などの世界情勢を背景に、日本経済は金融市場を中心に減速感が見られました。一方、消費税増税前の駆け込み需要により、大型家電等一部のものについては販売が好調でした。

当社グループにおきましては、付加価値の高い製品の受注と省力化に向けた生産体制の強化に努めました結果、金型の外販と自動車関連部品は売上が伸び、プラスチック成形事業では増益となりました。しかし、取引先の受注減のため、精密プレス部品事業とプリント基板事業において売上が減少いたしました。加えて、為替差益の減少と法人税等の増加が利益を圧迫いたしました。

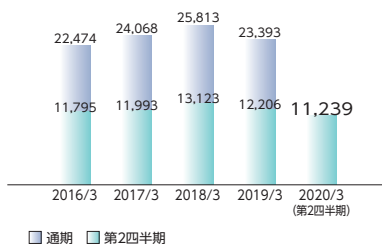
その結果、第60期上期における業績は、売上高は112億3千9百万円(前年同期比7.9%減)、営業利益は7億4千2百万円(前年同期比36.4%増)、経常利益は7億9千8百万円(前年同期比1.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億2千3百万円(前年同期比11.6%減)となりました。



2019年11月 ムトー精工拠点交流会

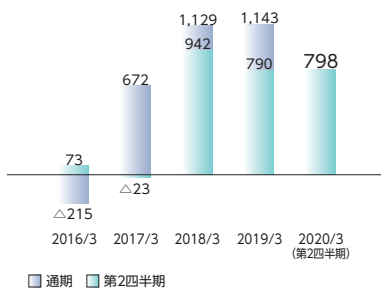
### ◆売上高

単位:百万円



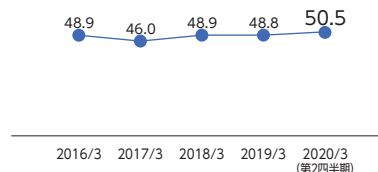
### ◆経常利益

単位:百万円



### ◆自己資本比率

単位:%



## 今後の展望と通期の業績見通し

自動車関連部品は、EV化加速に伴うプラスチック部品の需要拡大が見込まれます。また、カメラ関連部品は、一眼レフカメラをはじめとする高位機種需要は強く、今後も安定した受注が見込めると考えております。さらに、獲得した受注をスムーズに生産できるように、社員教育や社内環境の整備などを通じ、稼働率の拡大につなげてまいります。

金型販売につきましては、ベトナムを中心としたグループ全体の金型部門の稼働率を上げると同時に、外販をより一層強化し、利益率の拡大に尽力いたします。

一方、世界経済は米中の情勢を中心に景気悪化の懸念がございます。引き続き今後の動向に注意してまいります。

以上の要因を踏まえ、通期の連結業績は、売上高220億円、営業利益9億円、経常利益9億円、親会社株主に帰属する当期純利益5億5千万円を見込んでおります。

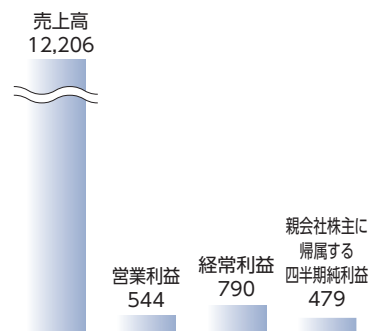
## 株主の皆様へメッセージ

当期上期は順調に推移し、当初計画より営業利益及び経常利益は増益となり、収益性の拡大が見られました。通期に向けて、当社グループは全世界的な減速傾向を見据え、生産工程の自動化、新技術の提案による新規事業の開拓、よりグローバルな事業展開を行い、成長が見込める分野に注力する所存であります。また、安定した収益により十分な内部留保を確保できるよう、企業体質の増強を推進すると同時に、新規分野・新規顧客の営業に注力し、収益拡大へつなげていくことで、株主の皆様の期待にお応えしたいと考えております。

配当金につきましては、既に発表済みである16円(通期)の安定配当をしていく予定です。株主の皆様におかれましては、長期的な視野に立って、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

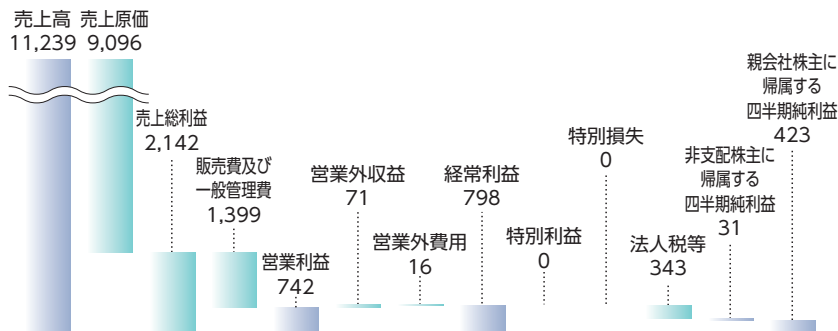
### 収益の状況(連結)

(単位:百万円)



2019/3 第2四半期

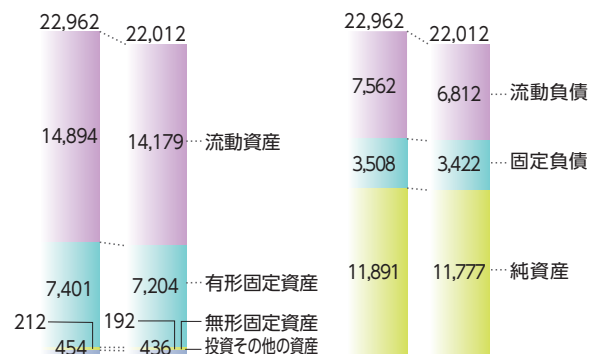
(単位:百万円)



2020/3 第2四半期

### 資産の状況(連結)

(単位:百万円)

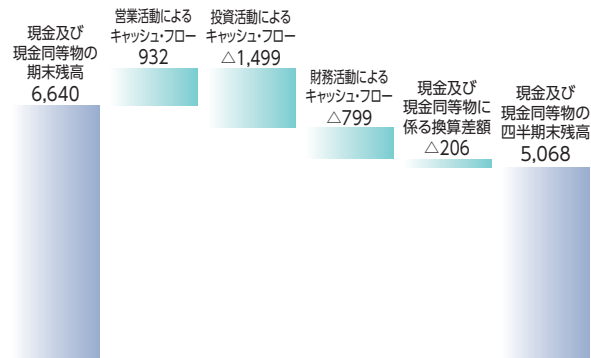


2019/3期末 2020/3 第2四半期末

2019/3期末 2020/3 第2四半期末

### キャッシュ・フローの状況(連結)

(単位:百万円)



2019/3期末

2020/3 第2四半期末

# 1

Topics

## 第5工場の新設



ムトー精工では、自動車部品の増産に伴い、安定した製品供給に対応するため、第5工場を新設しました。

成形機15台が稼働しており、第5工場新設により全体の生産能力は30%増加しました。

成形機は最大で18台設置できるキャパシティがあり、全体の生産能力は45%程度まで増加する見込みです。

また、自動化ロボットの導入も検討しており、省人化による効果も期待しています。

# 2

Topics

## ホームページリニューアル

<https://www.muto.co.jp>



このたび、ムトー精工ではホームページをリニューアルいたしました。

今回のリニューアルでは、ご利用の皆様により使いやすく、よりわかりやすいホームページとなるようデザインを全面的に見直しました。

また、スマートフォンからもご利用いただけるようにしております。

これからも内容の充実を図り、より良いホームページを目指してまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。

## ➡ 会社概要

商号	ムトー精工株式会社	
本社所在地	岐阜県各務原市鷺沼川崎町1丁目60番地の1	
ホームページ	https://www.muto.co.jp	
創業	1956年6月	
資本金	2,188百万円	
従業員数	連結4,117名	個別217名

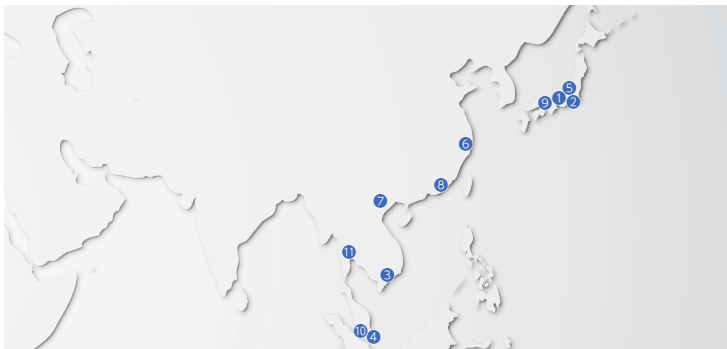
## ➡ 事業の内容

当社は、プラスチック成形用金型及びプラスチック精密部品の製造・販売、各種設計業務並びに技術支援等のサービス業務、プリント配線基板の設計・検査・販売及び精密プレス部品の製造・販売を行っております。

高度な専門技術を中心に、金型設計から金型製造、プラスチック成形、二次加工として塗装 (UV)・印刷・レーザーカット、そして最終工程の組立までの一貫生産を行っております。

また、海外戦略として、本社工場をマザー工場と位置付け、中国・東南アジア方面へ生産拠点のグローバル化を推進し、最適製造・最適調達システムをワールドワイドに展開しております。

## ➡ グローバルネットワーク



- ① 本社
- ① 岐阜工場
- ① テクニカルセンター
- ② 東京営業所
- ③ ムトーベトナムCO.,LTD.
- ④ ムトーシンガポールPTE LTD
- ⑤ 大英エレクトロニクス株式会社
- ⑥ 豊武光電 (蘇州) 有限公司
- ⑦ ムトーテクノロジーハノイCO.,LTD.
- ⑧ 武藤香港有限公司
- ⑨ タチバナ精機株式会社
- ⑩ ハントンスプリングインダストリーズSDN.BHD.
- ⑪ ムトー (タイランド) CO.,LTD.

## ➡ 株式の状況

発行可能株式総数	30,000,000株
発行済株式の総数	7,739,548株 (自己株式552,784株を含む。)
株主数	2,673名

## ➡ 大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
田中肇	486	6.77
株式会社大垣共立銀行	328	4.58
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	292	4.06
株式会社十六銀行	270	3.77
名古屋中小企業投資育成株式会社	247	3.44
ムトー精工従業員持株会	236	3.29
ビービーエイチ フォー フィデリティロー プライズド ストック ファンド	235	3.28
株式会社三菱UFJ銀行	220	3.06
国立大学法人岐阜大学	200	2.78
野村信託銀行株式会社 (投信口)	146	2.04

(注) 1.当社は、自己株式552千株を保有しておりますが、当該株式には議決権がないため、上記の大株主から除いております。  
2.持株比率は、自己株式を控除して計算しております。